



飯田市エシカル消費啓発動画 今日からできる、ちょっといいこと -遠山郷篇-

エシカル消費を広く皆様に知っていただくことを目的に啓発動画を作成しました。今回のテーマは「食品ロス」、舞台は遠山郷そして…あのキャラクターが誕生しました！！

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を「食品ロス」といいます。



動画では「食品ロスの何が問題なの？」「私たちにできることってなに？」そんな疑問にエシカッパがかわいく、時に厳しく答えてくれます！



エシカッパと学ぶ！
今日からできる
ちょっといいこと



飯田市の公式YouTubeで公開しています。ぜひご覧ください！



ところで！

「エシカッパ」って？

飯田市エシカル消費啓発公式キャラクターです。

自然環境が壊されていくことを憂いて個人的にエシカルを啓発している心優しいカッパ。天竜川に住んでいます。

「エシカッパ」でエシカル消費を啓発しませんか？

エシカル消費を啓発するグッズや資料に「エシカッパ」を使用いただけます。詳しくは市民課消費生活係まで。



あいらエシカッパ！
よろしくな！

県小学校「わくわく環境クラブ」で 食品ロス問題出前講座

「もったいない！できることからはじめよう」 を行いました



消費生活センター職員が講師となり、食品ロスの現状や問題点、私たちにできることなどをお話しました。

スーパーの売れ残った食品は廃棄されてしまうという話を聞き、期限が迫った商品を選んで買う「てまえどり」を促すPOP作りに取り組みました。



後日、作成したPOPをキラヤ県店さんに児童みずから掲示する活動をさせていただきました。どんな商品の棚に掲示するのが効果的か、店長さんのアドバイスを聞きました。

店長さん
手作りのPOPの
パネルです



「てまえどり」にご協力を！



県小わくわく環境クラブが作成したPOPはキラヤ全店に掲示されています。消費者のちょっとした心がけで食品ロスが削減できます。

令和5年10月29日（日） @エス・バード

エシカルシンポジウム（南信州環境メッセ2023）

10/28、29の2日間、南信州環境メッセ2023が行われました。その中で今年度も「エシカルシンポジウム」を開催しました。今回は「びちゃらんといいいことあるにい〜もったいない！できることからはじめよう〜」をテーマに食品ロスについて考える場としました。

*「びちゃる」とは方言で「捨てる」の意味

講演会講師は食品ロス問題ジャーナリスト井出留美氏。テーマは「どうする？食ロス！〜びちゃるなんてもったいない〜」。



パネルディスカッションでは社協職員、高校生等様々な立場のパネリストが登壇しました。高校生の「命をいただく」のテーマには会場中が感動しました。

恒例となりました下農生による「あなたのエシカル度チェック」。お客さんも巻き込んで楽しく行われました。

市長は燃やすごみの納半分が生ごみだって知ってますか？



会場ではフードドライブの活動も！

もっとがんばりましょう♡

お知らせ

エシカルシンポジウムの様子をゼロカーボンシティ推進課の公式YouTubeチャンネルで公開しています。



視聴はこちらから



エシカルコラム【柿の皮の活用】

市内各地で市田柿の生産が行われています。栄養価が高く、近年スーパーフードとしても注目される市田柿。ねっとりとした甘さが特徴の南信州が誇る特産品です。しかし生産される際大量の皮が廃棄され、処分費用も高額です。柿の皮にはβカロテンやビタミンA、がん細胞とたたかうタンニンが含まれています。そこで下伊那農業高校生がその皮に着目し、活用できないかと研究を重ねました。事業所



の協力を得て、柿の皮を粉末にして、クッキーやスコーンのレシピを考案しました。試作試食を繰り返し、JAの皆さんのアドバイスをいただきながら完成した柿の皮のお菓子。機会があり試食をさせていただきましたが、ほんのり柿の香りがして、とても食べやすく美味しかったです。地域の方にレシピを知っていただき今後は商品化も視野に入れているそう。柿の皮の大量消費を目指す、高校生の取り組みに注目してください。